2 班テーマ②【A 案：政府関与に賛成】

1. 市場取引における取引の公平性

取引が特定の企業・国家に過度に有利となり、市場の公正性を損なう場合には政府の介入が必要である。政府は会計情報だけでは見えにくいマクロ的なリスクを判断する役割がある。

2. 自国産業の保護

短期的な経済合理性だけでなく、長期的な国家戦略や雇用安定、供給網維持といった無形資産の評価も必要であると認識すべきである。特に、コスト削減や利益追求を目的とする外資による再編が、地場産業の弱体化を招くリスクを無視できない。

3. 技術流出への懸念

US スチールが有する製造技術や素材技術は、防衛関連や先端産業にも応用される可能性がある。

4. グローバルな競争力の強化

一見すると、外資の導入は競争力を高めるように見えますが、中長期的には国内産業の空洞化や技術流出を招き、結果的に国際競争力を弱める可能性がある。

5. 従業員及び関連ステークホルダー

M&A の実行により、雇用環境や地域経済、サプライチェーンに大きな影響が出ることがある。政府が関与することで、従業員の雇用を維持する効果がある。